

「木育」から  
ひろがる



「触れる」

- 木材の良さを感じる、気づかせる活動
- 木の文化や歴史と出会う活動
- 森の恵み・木の文化にふれ、感性を育む

「創る」



- ものづくりを通じた創造性を高める活動
- ものづくりから暮らしづくりのための活動
- 楽しさ・思いの実現

「知る」



- 木材の利用と環境の関係を正しく理解する活動
- 未来へ伝える木の文化を知り理解を深める活動
- より良い社会をつくる行動力を高める活動
- 森と木材を学び環境への貢献活動を促進する

## ～イベントに参加された方の声～

### ■木製おもちゃで遊んだ子ども■

- ・音が面白い！
- ・すべすべしていい気持ち
- ・いい匂い！



### ■大人(保護者・保育士)■

- ・安全な素材なので、安心して子どもに与えられます。
- ・木のおもちゃは高いから買うのはたいへんだけど、常設で遊べる施設があるといいです。
- ・(お話し組木で遊んでみて)子どもと話しながら過ごす時間が増えそうです。
- ・子ども達が木の玩具に親しみを持ち、どんどん遊びを発展させている姿が印象的でした。



### ■木育関係のイベント情報を随時更新しています↓

[http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ch-nosui/w\\_si.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ch-nosui/w_si.html)

### 【お問い合わせ】

中南地域県民局 地域農林水産部 林業振興課  
〒036-8345 弘前市大字蔵主町4  
TEL:0172-33-3857  
FAX:0172-32-8544  
e-mail:ch-nosui@pref.aomori.lg.jp



# わんどの木育

「木のぬくもりで豊かな心」



「木育」は幼児期から原体験としての、木材との関わりを深め、豊かな暮らしづくり、社会づくり、そして森づくりに貢献する市民を育成する活動です。

「木育」は、木材のぬくもりや、やさしさを知り、木材をより良く使う知恵と技、そして木材や森林についての確かな知識と行動力をもった人間を育てたいという、強い思いからうまれました。

「木育」を通じて、木材を使うことが、豊かな森林の整備と適切な管理、地球温暖化の防止や大気・水・土壌などの維持に、誰もが貢献できるということを、すべての世代の人たちに伝えていきます。

# もく　いく 「木育」とは…

「木育」とは北海道生まれの新しいことばです。子どもをはじめとするすべての人が、木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育む活動です。

また、「木育」は、幼児から高齢者までを対象とした、生涯にわたる幅広い活動です。

木についての様々な体験は、単に木についての理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解の基礎を育むものです。



## 「木育」が育てる、 こころとからだ。

～木に触れてみよう～

木材は、優れた調湿作用を持ち、断熱性、衝撃吸収能力、リラックス効果などもあり、私たちが健康で快適な暮らしをするうえで欠かせない材料です。

また、木目や匂い、あたたかく心地のよい肌触りは、五感に程よい刺激を与えるといわれています。感性豊かな乳幼児期に、木のおもちゃで遊ぶことは、子どもの成長に最適です。

## 「わんどの木育」について

～青森県中南地域県民局の取組です～

これまで青森県では、植樹・育樹作業や木工教室などの「森林・林業体験」の活動を行ってききましたが、今年度から、県内では初めて「木育」という観点からの取組を進めています。

### ■目指す「木育」

森林資源に恵まれた青森県において、子どもの頃から木を取り入れた生活の中で、木と森に親しみ、人と、木や森のかかわり、森林づくりの大切さを考えられる豊かな心を育みます。

### ■「わんどの木育」普及

#### 推進事業における取組

「未就学児を対象に、県産材のおもちゃなどとのふれあいを通じて木に親しみ、木の良さや利用の意義を学んでもらうための活動」を中心に展開します。

主な取組内容は、「木育一日体験教室(幼稚園・保育園に木育インストラクターが訪問)」や「街中木育広場」のほか、管内市町村イベントでの普及啓発活動などです。

どの取組でも県産材のおもちゃがたくさん登場します。(詳しくはHPをご覧ください。「中南地域の「木育」について」  
[http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ch-nosui/w\\_si.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ch-nosui/w_si.html))

### ■シンボルマークについて

木を抱え、にっこりほほ笑む人をイメージしています。手は「わんど」の「W」と「木育」の「M」です。このマークを見かけたら、「木」のこと、「木育」のことを考えてみませんか。



## 森のこと、 身近な木を使うこと。

木育を通して、木に対する親しみや理解を深めることにより、木を生活に取り入れたり自ら森作りに貢献する人の育成を目指します。

### ■森のはたらき

森林には木材を生産したり、きれいな水を育む働きがあり、土砂災害や雪崩などから私たちを守ってくれます。

さらに、森林の美しい景観やきれいな空気は人の心を和ませ、身体を健やかにしてくれます。

### ■身近な木を使うこと

身近な木を使うことにより、外国や他県産の木材を使うよりも輸送距離が短いため、輸送に伴うCO2の排出量が抑えられ、地球温暖化防止に貢献します。

地域の木を使うことで、苗木を植えて、育てて、収穫するという地域の林業サイクルがスムーズに循環します。



「わんどの木育」で使用している県産材のおもちゃ